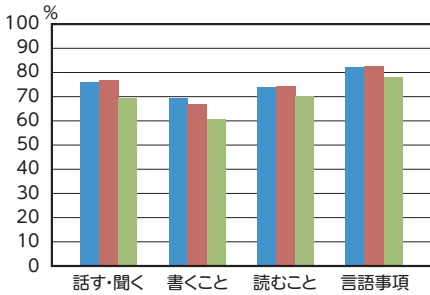


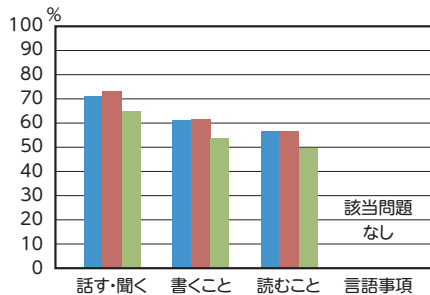
# 概要

■美郷町 ■秋田県 ■全国

## 小学校【国語A】

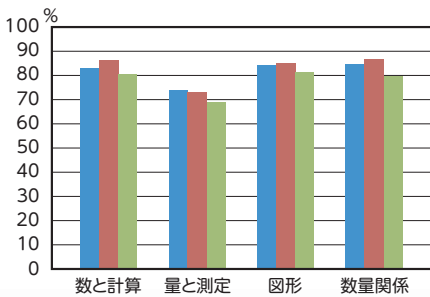


## 小学校【国語B】

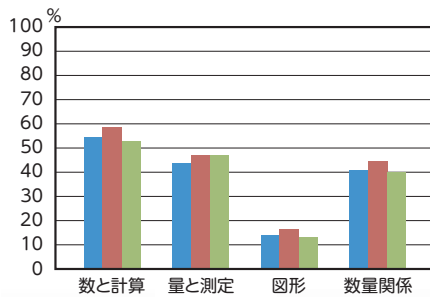


すべての領域において全国の平均正答率を上回り、良好といえます。昨年度課題だった「読むこと」は、国語A・Bともに県と同等となり、一定の成果が得られました。昨年伸びがみられた「書くこと」は今年度も良好であり、継続した取組の成果といえます。

## 小学校【算数A】



## 小学校【算数B】



算数Bの「量と測定」以外はすべての領域で全国の正答率を上回りました。しかし、算数Bの「数と計算」以外は県や全国同様に平均正答率が50%に届かず、課題となっています。生活のさまざまな場面において学習した知識を活用して考える姿勢を伸ばしていく必要があります。

4月18日に実施された全国学力・学習状況調査では、町の小学校6年生と中学校3年生が国語と算数・数学の2教科において、基礎的知識を問う「A問題」と知識を活用する力をみる「B問題」にそれぞれ取り組みました。また、子どもたちの生活・学習習慣等を調べるための質問紙調査も行われました。

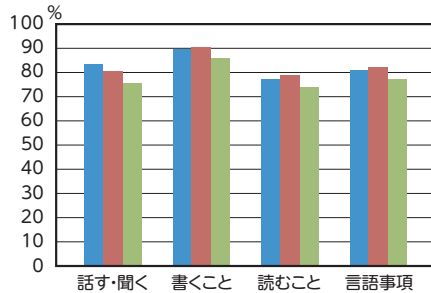
# 平成29年度 全国学力・学習状況調査

# 学力調査の結果

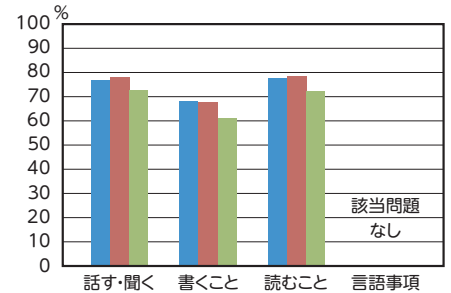
## 総評

各校では、4月の調査終了後に自校採点を行い、課題把握とその克服に向けた対策を実施してきました。公表された今回の結果からは、国語の力が伸びている反面、算数・数学における基礎・基本の定着に課題があることが明らかとなりました。今後は、公表結果を詳細に分析し、現状把握と課題克服に向けた授業改善に取り組むことによって、美郷の子どもたち一人一人が、本来持っている力を十分に発揮していけるように努めていきます。

### 中学校(国語A)

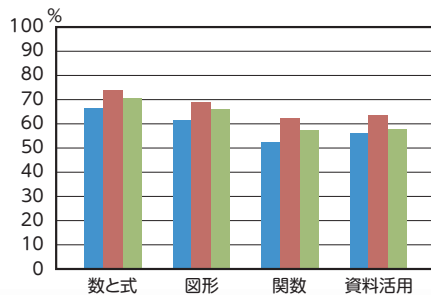


### 中学校(国語B)

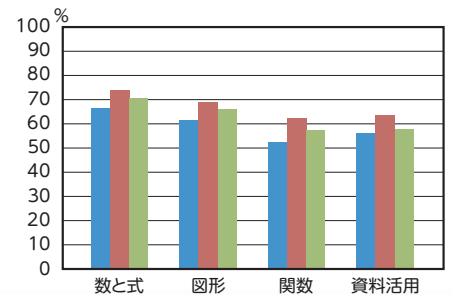


すべての領域で全国平均正答率を上回っており、特に国語Aの「話す・聞く」と国語Bの「書くこと」はともに県の平均正答率も上回っており非常に良好といえます。昨年課題とされた「読むこと」は、県の平均正答率に近づき、文章を正確に読み取りながら必要な情報を整理する力が伸びているなど、成果がみられます。

### 中学校(数学A)



### 中学校(数学B)



数学A・Bのすべての領域において全国平均正答率を下回っています。特に数学Bにおける「関数」は県の平均正答率との差があり、課題となっています。数学の基礎的な知識・技能の確実な定着に向けて取り組んでいく必要があります。